

2018年度科学研究費採択一覧

代 表 者	課 題 名
飯 泉 恭 一	タンパク質のニトロ化修飾を指標とした2型糖尿病予防薬・治療薬の開発
石 原 美 彦	シニアスポーツが高齢者の運動機能と筋サイズに及ぼす効果
伊 藤 真 紀	パラリンピアンに対するキャリア支援に関する研究—社会認知的進路理論を用いて—
牛 尾 直 行	インドにおける無償義務教育法の施行とその社会的効果に関する教育制度学的分析
大 野 早 苗	意見文の談話展開と表現技法の特徴についての日中対照研究
萩 原 朋 子	小学校体育授業における学習者の素朴概念を修正するための学習指導方略の検討
尾 崎 隼 朗	胎児期発育状態とその後の身体活動は幼児期の身体組成に影響するか
川 田 裕 次 郎	fMRI を用いたアスリートのための効果的な感情調整方法の解明
北 田 友 治	競技種目特性に応じた呼吸筋トレーニングの明示：効果最大化計画
城 所 哲 宏	小学校学級におけるスタンディングデスクの導入が児童の血中脂質項目に及ぼす影響
熊 谷 仁	スポーツ傷害における遺伝的背景の解明—性ホルモン関連遺伝子群に着目した検討—
黒 須 充	ドイツにおける移民の社会統合の促進とスポーツクラブの役割
鯉 川 な つ え	女性アスリートにおける LEP の副次的効果の解明
後 藤 佐 多 良	筋線維組成を規定する遺伝子多型は生活習慣病発症を予測するバイオマーカーとなるか
坂 本 彰 宏	呼吸終末二酸化炭素分圧動態に着目したハイポベンチレーショントレーニングの開発
桜 庭 景 植	疲労骨折の予防を目的としたトレーニングの開発—下肢筋力に着目して—
佐々木 啓	肺パスツレラの細菌分類の再編と病原因子に基づく検出法の開発
鈴木 美奈子	健康寿命の延伸と自殺予防に効果的な健康・幸福要因の検討
鈴木 良 雄	フェニルアラニン脱炭酸反応における PDXDC1 の役割の解明
須 藤 路 子	英語音声習得の分析と発音訓練の効果測定—伝わる英語の音声指導プログラムの開発—
染 谷 由 希	青年期の体力と糖尿病発症リスクに関する疫学研究
張 碩 文	骨格筋肥大効果を最大限に引き出すサーカディアンリズム
都 築 孝 允	レドックス制御機構を介した肥満・糖尿病に対する効果的な運動の探索
長 登 健	インクルーシブ体育を実践できる教員養成モデルカリキュラムの開発
中 西 唯 公	養護教諭に求められる職務役割と養護教諭養成課程における養成カリキュラムの検討
中 村 恭 子	精神科リハビリテーションにおける体力・運動能力回復のための運動プログラムの検討
棗 寿 喜	筋電気刺激と血流制限を組み合わせた新たなトレーニング方法の開発
野 川 春 夫	スポーツ種目別・練習形態別の衝撃度実験によるスポーツフロアの性能劣化指標の構築
原 田 睦 巳	金メダル獲得のための新たな技術分析と指導法の提言—「屈身ベール」を例に—
広 沢 正 孝	知的障害児の運動能力改善・向上プログラムの開発
廣 津 信 義	スポーツの競技現場でチーム・選手の評価に活用できる代数的な計算指標の開発
福 典 之	スポーツ傷害（靭帯損傷・筋損傷・疲労骨折）を規定する機能的遺伝子多型の解明
堀 池 巧	サッカーにおける高強度走中のポゼッション攻撃に関する研究
町 田 修 一	骨格筋幹細胞の性差：エピジェネティクス制御機構の解明とサルコペニアへの応用
松 山 毅	「共助」の思想史的研究—公民の協働関係は上下か対等か？
水 野 基 樹	人工知能（AI）技術を応用した看護組織の組織活性化に関する経営学的研究
山 田 泰 行	震災に強い地域社会の実現に向けた科学コミュニケーションの実践的研究
山 中 航	運動の好き嫌いを決める脳神経基盤の解明—運動は報酬となり得るか？—
吉 原 利 典	エピジェネティクスで解く骨格筋萎縮抑制機構
吉 村 雅 文	女子サッカーの競技力向上を目指して PART2—アジリティ能力の検討—
渡 邊 貴 裕	体育系大学の教職課程に位置付けた障害者スポーツ指導者養成プログラムの開発
渡 正	障害者スポーツ文化のライフヒストリー的研究—パラリンピック東京大会のレガシー